

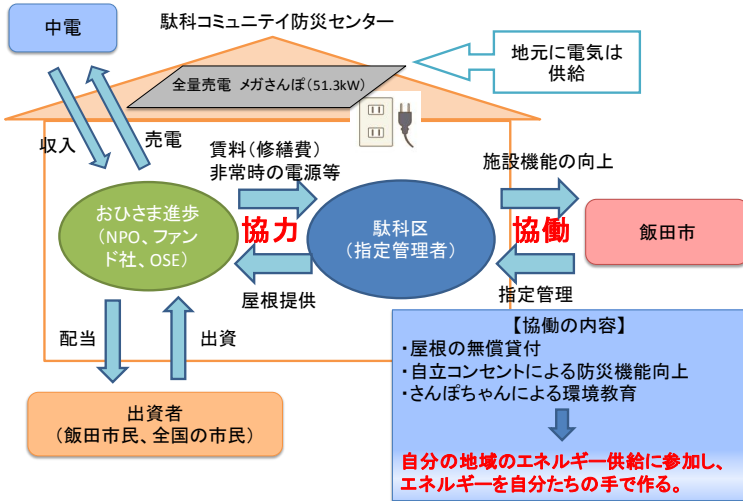
平成 26 年度における地域公共再生可能エネルギー活用事業の現況について

市民協働環境部環境モデル都市推進課

1. 飯田市駄科コミュニティ防災センターにおけるメガさんぽおひさま発電所プロジェクト 2013

【認定第 1 号（認定は平成 25 年度）】

駄科区・おひさまグリッド 4・飯田市との公民協働事業協定を行った。【6月25日】

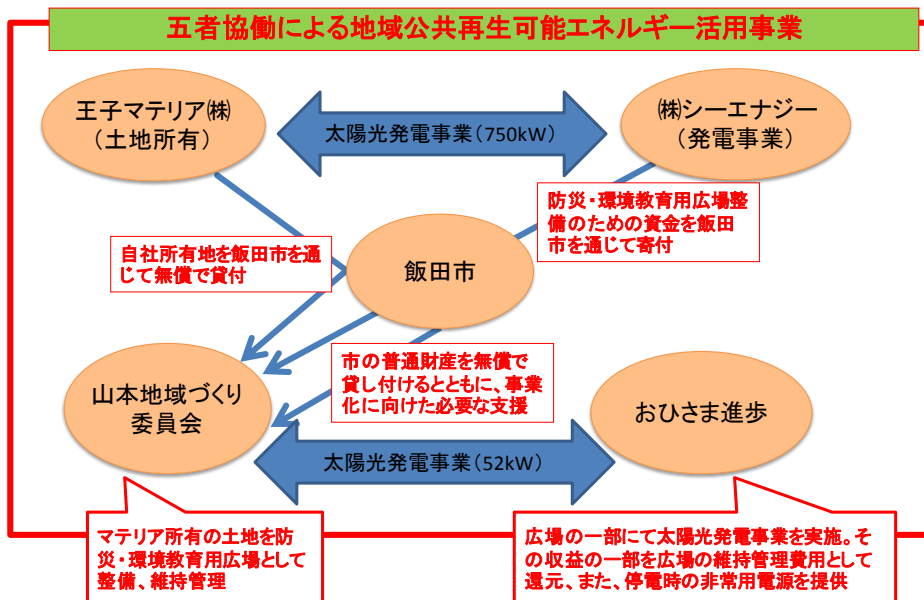


○事業のねらい・効果

非常用電源の自立コンセント提供等、センターの防災機能の強化と区民の防災意識の向上や環境事業、啓発事業を通じ、住民による再生可能エネルギーの利用を軸として、竜丘地区が進める「環境文化地区づくり」に貢献する。

2. 飯田山本おひさま広場整備事業【認定第 2 号】

- (1) 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会の審査により、条例による支援の答申。【7月25日】
- (2) これを受けて市長が条例による支援を決定し、10月31日に関係者で公民協働事業協定を行った。

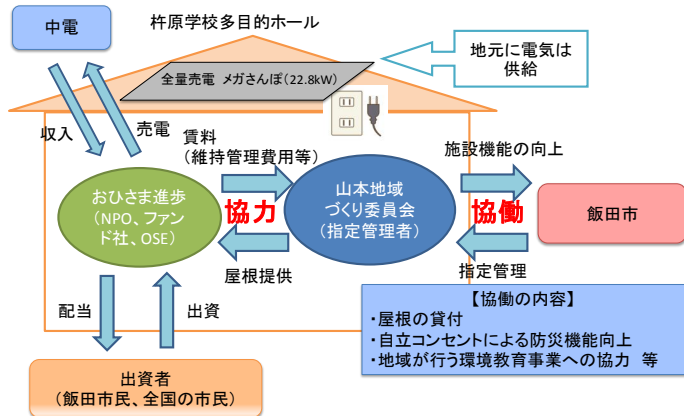


○事業のねらい・効果

山本地区住民が主体となって、企業が行う太陽光発電事業と連携し、コミュニティの憩いの場や防災・環境教育用広場を整備し、住民と企業と行政との協働による地域づくりを進めていく。

3. 杵原学校多目的ホール太陽光発電設備設置事業【12月19日に認定式開催予定】

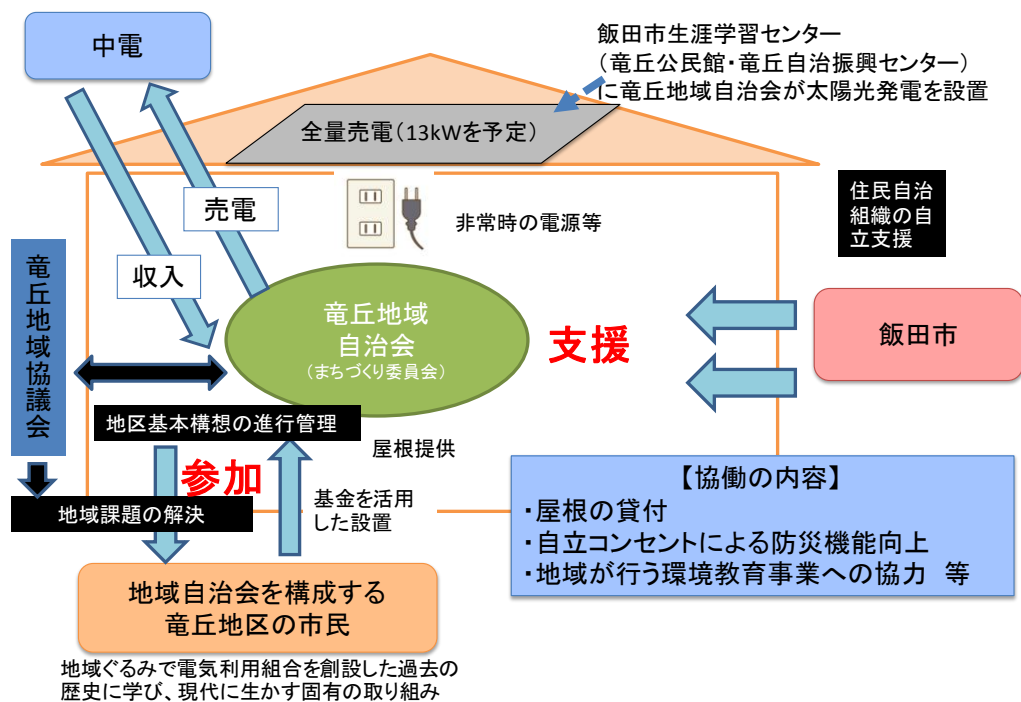
- (1) 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会の審査により、条例による支援の答申。【8月27日】
- (2) これを受けて市長が条例による支援の決定に向けて、準備を進めている。市長が事業決定した後、関係者と飯田市で公民協働事業協定を締結する予定。



○事業のねらい・効果

地域住民の拠り所である杵原学校を活用し、この事業をきっかけとしてさらなる施設の有効利活用、住民が集い汗を流す活動を創出していく。

4. 丘づくり・市民共同発電プロジェクト2014【審査継続中】



○事業のねらい・効果

地域のエネルギー供給に市民自らが参加し、収益を公益性の高い住民自治活動に還元する。このことで、独自財源確保による竜丘地区基本構想に係る「環境・文化地区」づくりから持続可能な地域づくりを実現していく。

5. 小沢川小水力市民共同発電事業【事前相談】

(1) 発電事業体による設備認定に向けた各種調査【市が支援として実施】

※農山漁村6次産業化対策補助金にて実施中（農水省）

- ①取水地点、導水路、発電設備設置地点の測量を実施した。今後はこの測量結果に基づき、取水設備と発電設備を設置する予定地点の地質調査を実施している。
- ②発電出力、発電機の選定等設備認定に必要な最終調査を実施している。
- ③当市の小水力発電コーディネーターの支援のもと、中電との接続協議、県との取水協議等、発電事業に必要な関係機関との協議を進めている。

(2) 発電事業体の設立と売電収益活用による地域振興事業の検討【地元主体で実施】

※上村まちづくり委員会が長野県自然エネルギー地域発電推進事業補助金の交付を受けて実施

- ①地域主導の再生可能エネルギー事業を支援する専門家からの支援を受けて、発電事業体の設立に向けた検討等を進めている。
- ②地域づくりコンサルタントの支援を受けて、発電事業による収益を地域振興事業に活用することについて検討を進めている。
- ③これらの取組については、検討協議会委員で構成する作業部会を設置し、専門家の支援を受けながら協議、検討を実施している。

(3) 年度末までの主な取組

- ①設備認定の取得と設備認定に必要な発電事業体の設立
- ②地域主導で発電事業を行うための、認可地縁団体の設立

